

北海道地域農業研究所に期待

北海道農業協同組合中央会

会長 床 鍋 繁 則

北海道農業の振興に係る道内唯一の研究機関として、このたび、社団法人北海道地域農業研究所が設立されたことは、私ども農業関係者にとって長年の懸案であったことであり、心からお慶び申しあげます。

さて、今大きくゆれ動く世界情勢の中で、日本農業、そして北海道農業は、新しい時代二十一世紀に向け様々な課題を抱えており、国民の生命である食料の生産、供給基地として確固たる基盤を築くため、あらゆる努力を



傾けながら前進しております。

ご承知のとおり、農畜産物の輸入自由化圧力が日増しに強まる中で、基幹作目の多くにわたる生産抑制と価格の引下げなどが、農家経済ばかりでなく、地域経済にも大きな影響をあたえております。また、農村地帯の高齢化現象が進行する一方、将来の北海道農業の担い手となる後継者の不足など農業構造は大きく様変わりしようとしております。

このような情勢下に対処するため、系統農

協は、農業所得の安定的拡大と地域農業確立のため、地域農業再編による農畜産物生産コストの低減と安全・良質な生産に向け消費者の理解と行政各関係機関団体の支援と協力を得て取組みを強化することといたしております。また、地域社会とのつながりをさらに強め農業の持つ国土・環境保全等の役割を果たすとともに、国民の心ふるさとの心である農村の良さを生かした「心の豊かさ」を大切にす

る活動も積極的に展開しております。

今日まで、農業者、農業団体、行政、大学とそれぞれの立場で知恵をだしあいながら取り組んでまいりましたが、農業は他産業を含めた地域全体の理解と協力があって成りたつものであります。地域の実態は多岐にわたる課題をもっており、それを解決し新しい時代に対応する地域の基幹産業として農業が発展していくためには、産、学、官のそれぞれの機能が一体となって取り組むことがより重要であります。

設立されてまもないこととて、関係者のご苦労は大変だと思いますが、全道の農民と行政関係機関団体が協力し名実ともに、道内唯一の農業専門の研究機関として発展、充実されますよう心から念願する次第であります。

理事長はじめ、役員各位のご活躍をご祈念申しあげご挨拶いたします。